

## ひと・夢・まち 町長コラム

### 真心厚く、考えて行動していますか？（令和4年4月号） 西郷どんの教え その36

今回の西郷さんの教えは、「真の機会」についてです。

「世の中の人々が良く「好機をつかんだ」というのは、多くはまぐれ当たりのことを言うものである。本当の機会というものは道理を尽くして考えた上で行き、そして時の醸成を明らかに見極め動くときにつかめるものである。平生から天下国家を憂う誠が厚くないのに、ただ時のはずみにのって成功した事業というものは決して永続きはしないものである。」と教えています。

脱炭素社会に向けて一歩踏み出し、新型コロナウイルス感染症の対策を講じているさなか、信じがたい出来事が世界を震撼させています。

SDGs：だれ一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標として掲げ、2030年を達成年月日としています。当時16歳だった少女グレタ・トゥーンベリは、地球温暖化の弊害を全世界の人々に訴えかけています。

私たちが共存しているたった一つの地球、天を敬い、人を愛する環境を創造していかなければならないと痛切に思う今日この頃です。